



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和5年1月17日No.27

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

兵庫県淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の直下型地震で、国内初の震度7(鳥取中部地震は震度6弱)を記録した「阪神・淡路大震災(平成7(1995)年1月17日午前5時46分発生)」から28年が経過しました。

よく「何事も経験です」と言いますが、なんでも経験すれば良いというものではありません。それは、自然災害をはじめ、家族や知り合いの不幸、あるいはそうした人たちとの人間関係の悪化、その他にも、自分の不調や病気、事故などです。

誰にでも、あれはしなくてもいい経験だった・思い出すと辛いと感じていることが幾つかあるでしょう。それを乗り越えて今があるのだと、今無理やり感じようとしているだけで、決してその時は、ためになる経験ができて良かったとは感じることはないです。

私たちにできることは、「(〇年前の今日)、～がありました。」と知ったことをきっかけとして、自分自身と同じ境遇の人がいれば、経験していない人よりは、その人に寄り添ってその人の気持ちを理解できるということぐらいでしょうか。

「みのりある学び」×「最適な環境」×「技術室にて」

◆ 磨けば磨くほどキレイになります

サンドペーパーを使って木材を磨いています。木の表面を見ると光っていますし、触るとツルツルでした。しかし、まだまだ磨き途中とのこと。目指す目標値の高さに感心させられました。



「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「正副室長会」

◆ 今月の目標の達成度から設定する来月の目標 正副室長会で決めた内容だけですが紹介します。

- ① 今月の生活信条 よく気がつく生徒

② 3学期の目標

- ・ 次の学年に向けてその学年に相応しい行動を取ることができる。
- ・ 進学に向けて自分の姿を見直す。

③ 1月の重点項目

- ・ 上の学年の行動を見る(1・2年)
 - ・ 自分の行動を振り返って良い点・改善点を見つけ、次の進路につなげる(3年)
- 全校朝会時に発表する内容です。決めた・言ったからには即実行です。先輩や周りの友人を参考にしながら、自分の言動を確認する January(johnny ではなく…)となります。



「みのりある学び」×「最適な環境」×「霧のみささ」

◆ 三朝町は霧の発生が多いそうです(卒業生曰く)

1/11(水)2年生が霧を発生させる実験をしていました。そういえば今日も山に霧がかかっていた。霧の発生条件は、湿度が高いこと(空気中の水蒸気量が多いこと)と気温がある程度急激に下がることのように。この2つの条件を満たすことが多いから、山の中では霧ができやすいようです。

この実験には続きがあるようで、今日(1/17)の実験は、理科室の"㊦飽和水蒸気量"を調べていました。



㊦空気1㎡中に存在できる水蒸気の質量をgで表したもの